

The background image shows a wide view of a park in the foreground with a green lawn and trees. In the middle ground, there is a large, modern building with a distinctive tower-like structure. In the background, a city skyline is visible with various buildings and mountains in the distance under a clear blue sky.

震災30年 神戸の歩み

— これまでの復興の取組と今後の備え —

神戸市長 久元 喜造

2025年9月20日 創造的復興サミット

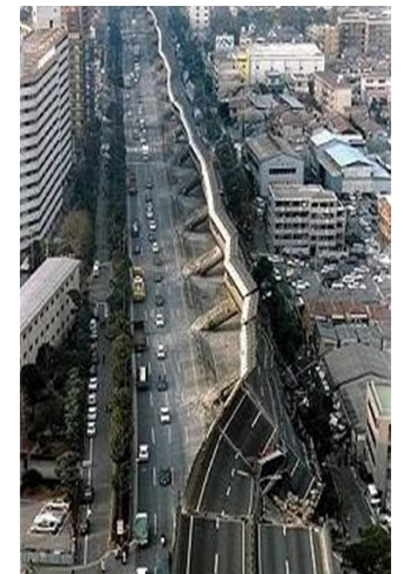
■ 発生日時 1995年1月17日 午前 5:46

■ 地震規模 マグニチュード 7.3
※ 国内観測史上初の震度 7

■ 死亡者 〔総 数〕 6,434人 〔神戸市〕 4,571人
※ 73%が家屋倒壊などによる窒息・圧死

■ 負傷者 〔総 数〕 43,792人 〔神戸市〕 14,678人

■ 避難人数 236,899 人 (1995年1月24日時点)



阪神・淡路大震災の被害と教訓

BE KOBE

- 建物倒壊〔全壊〕 67,421棟 〔半壊〕 55,145棟
火災被害〔全焼〕 6,965棟 〔半焼等〕 421棟



古い木造家屋の密集地に被害が集中

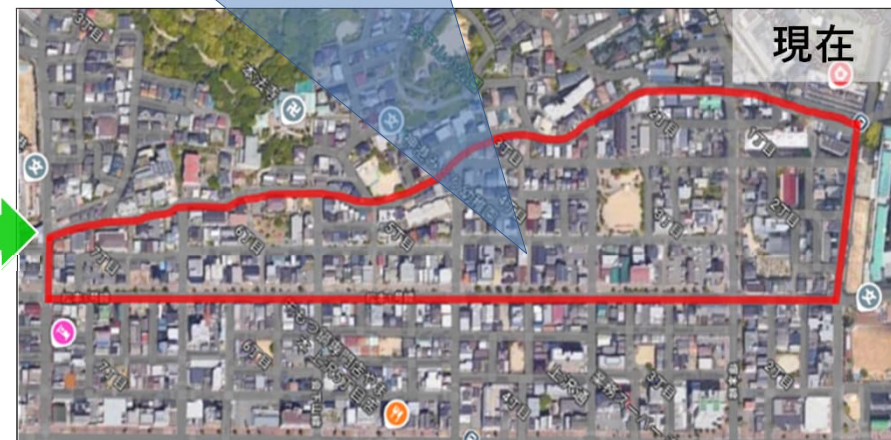
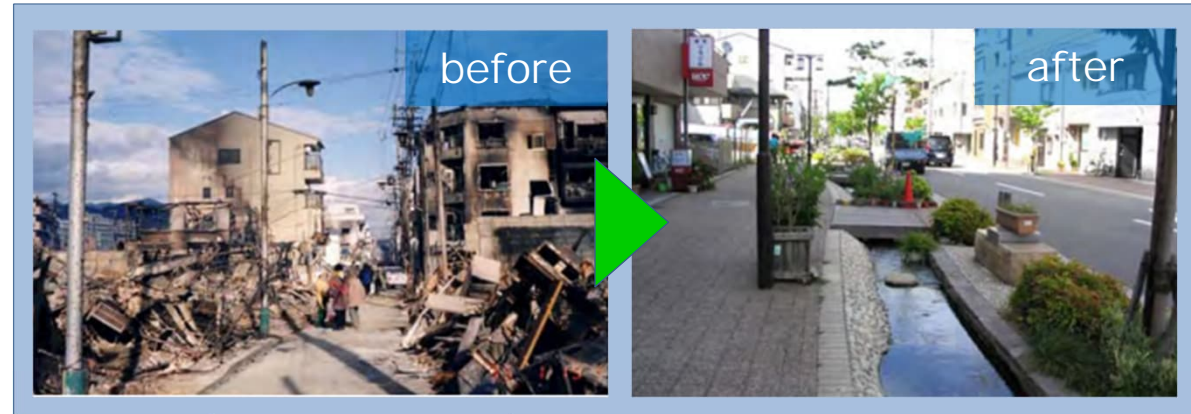
- 生活インフラの機能停止
(水道、下水、電気、ガス など)



自衛隊による給水に並ぶ市民

市街地の再生

- ✓ 土地・建物を再編し
都市基盤（道路・公園）を整備
- ✓ 住民の生活再建と
都市の防災性向上を両立



建物の耐震強化

阪神・淡路大震災における建築物等の被害 全壊 67,421 棟 半壊 55,145 棟



建物の耐震化の取組み

✓ 耐震化への補助制度

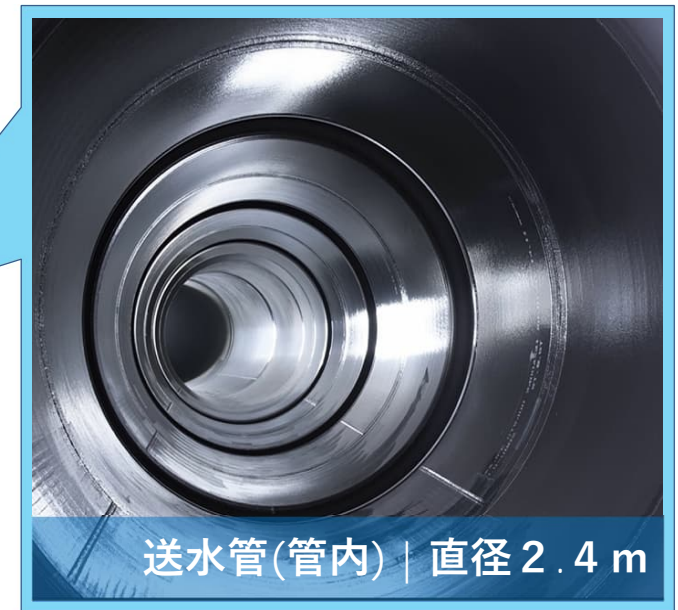
✓ 大規模建築物の耐震診断

✓ 耐震改修促進計画の策定

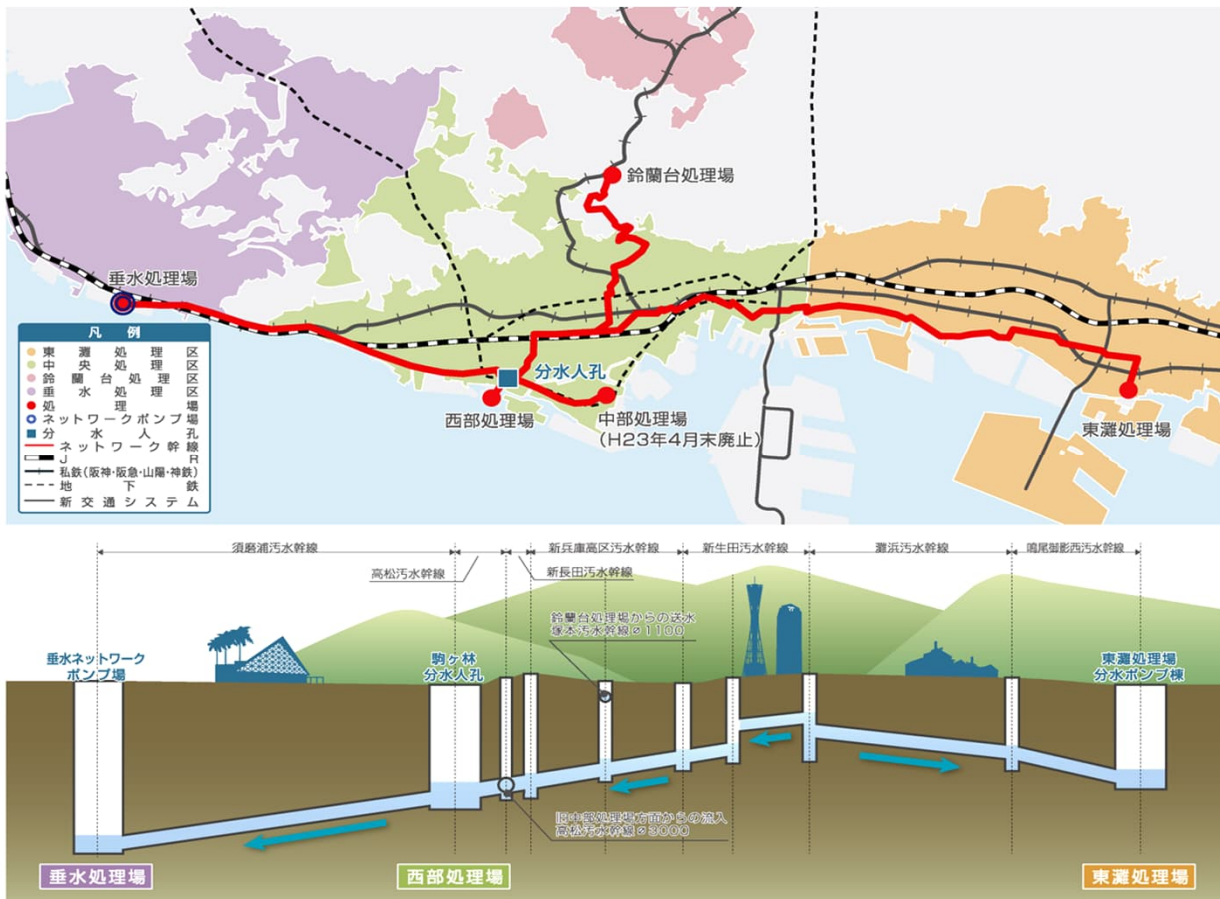
住宅の耐震化率： 84%（2003年） → 91%（2013年） → 94%（2018年） → 97%（2030年目標）

水道：大容量送水管の整備

- ✓ 既設の送水トンネルとは別に、**市街地の地下を通る新ルート**を構築
- ✓ **全市民×約12日分の飲料水を貯留可能に**
(災害時は応急給水拠点として機能)



下水道ネットワークシステムの構築



- ✓ 市内の下水処理場を
大口径の下水管で接続
- ✓ 1つの処理場が停止しても
別の処理場で汚水処理が可能に

防潮鉄扉の遠隔操作

- ✓ 防潮鉄扉は遠隔地から**タブレットによる遠隔操作**が可能
- ✓ J-ALERTと連携して自動閉鎖も可能

タブレットによる遠隔操作
全国初



【防潮鉄扉】

開閉状態の
映像配信



閉鎖操作



【職員宅／出先等】

帰宅困難者対策

全国初

✓ 災害発生時、**帰宅困難者をスマホで一時滞在施設へ誘導**するシステムを構築

- ・ 一時滞在施設の検索 & 予約
(チェックイン・チェックアウト機能)
- ・ 道案内
(ナビ機能)
- ・ 交通情報などリンク表示
- ・ 多言語機能

帰宅困難者支援システム

災害発生！電車がSTOP
スマホで一時滞在施設へ



事前登録不要
どこでも誰でもログイン
インバウンド対応として
多言語切替機能を搭載
施設の入退所手続きも
スマホで簡単操作



LINE「神戸市災害掲示板」

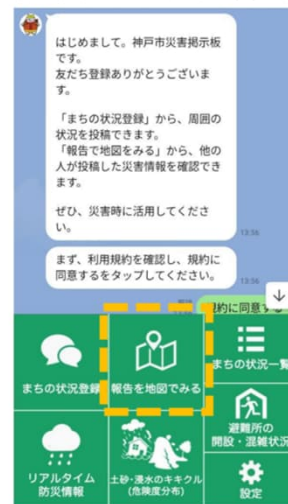
政令市初

- ✓ 身近な災害情報を簡単に投稿
- ✓ 投稿内容はAIが自動整理・集約
- ✓ リアルタイムで情報を確認
- ✓ 地図上で被害状況を可視化

行政からの発信とともに
市民同士の情報共有による
新たな共助の形へ

<トップ画面>

アイコンをタッチして地図をみる



メニューを開く/閉じる

<地図情報>

投稿状況をタッチ



<災害状況写真>

投稿内容を確認



外部給電・神戸モデル

- ✓ 停電時にも、電気自動車などから避難所へ電気を供給し、照明の一部を点灯
- ✓ 避難所に指定された全ての市立小・中学校・高校に設置（体育館、多目的室など）

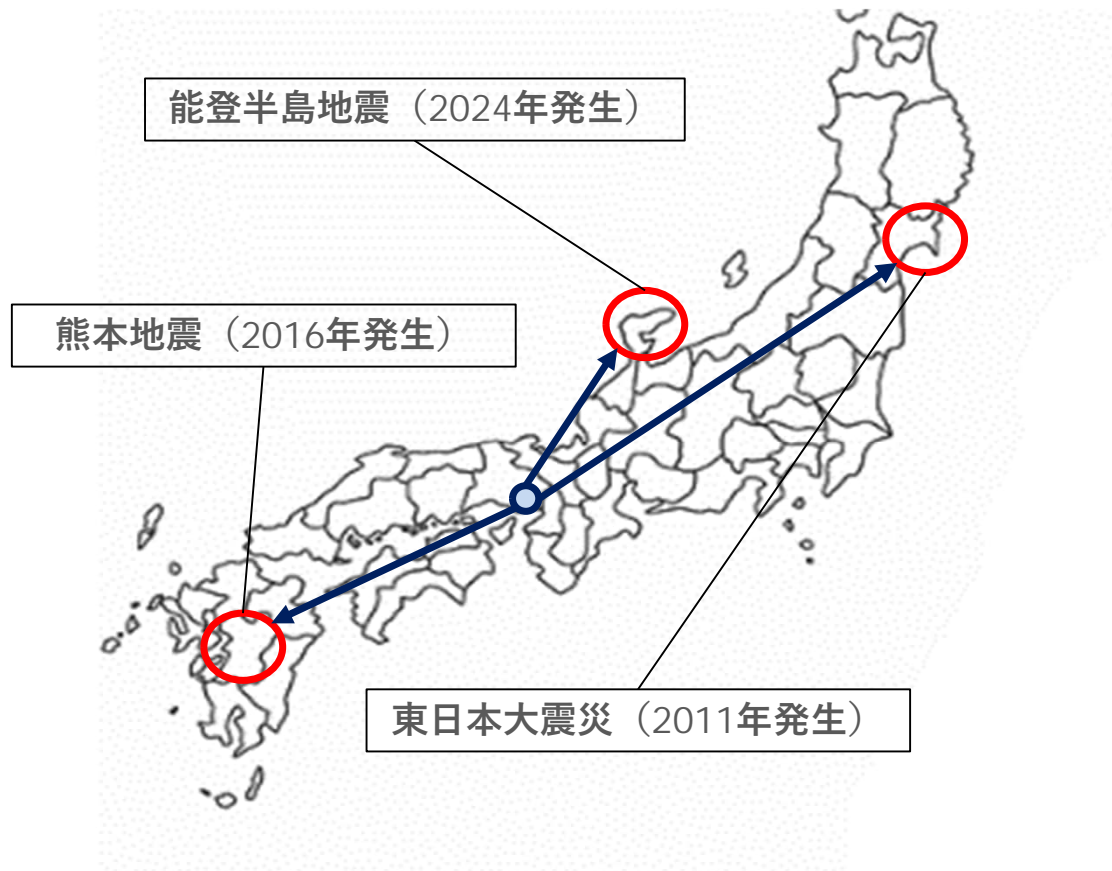
電動車



外部給電・神戸モデル



自治体間連携の推進



- ✓ 阪神・淡路大震災の経験を活かして被災自治体を支援
- ✓ 災害対応経験のある職員に加えて若手職員を派遣し、ノウハウを継承

能登半島地震における被災地支援の例



避難者の健康支援



下水道復旧

国際会議「グローバルカンファレンス」

- ✓ 震災30年の節目に、海外都市（U7）を招聘し
今後起こり得る災害への備えや都市の役割を議論

< 共同宣言に示された取組み >

- ・ 防災DXの推進
- ・ 都市としての気候変動対策
- ・ 住民による自助・共助の支援
- ・ 自治体間連携



今後とも都市間での知見共有や交流を進め、
安全で持続可能な社会の構築に貢献



BE KOBE